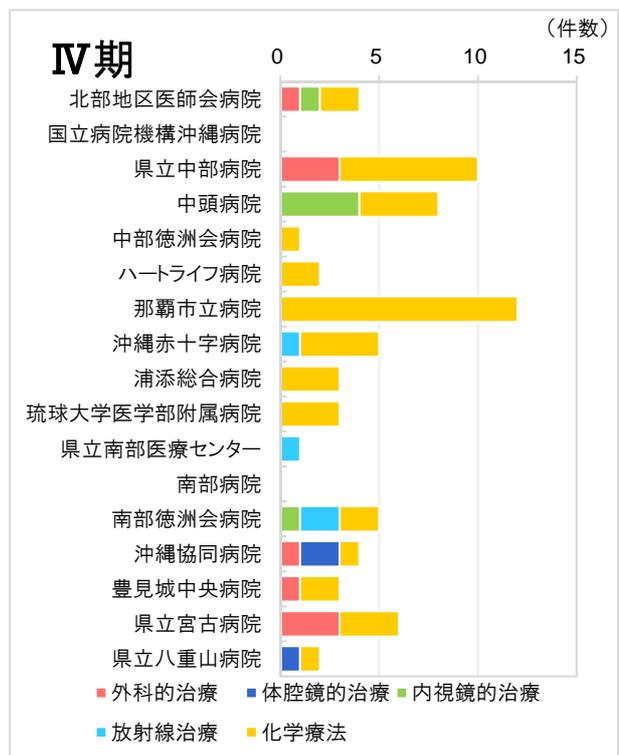
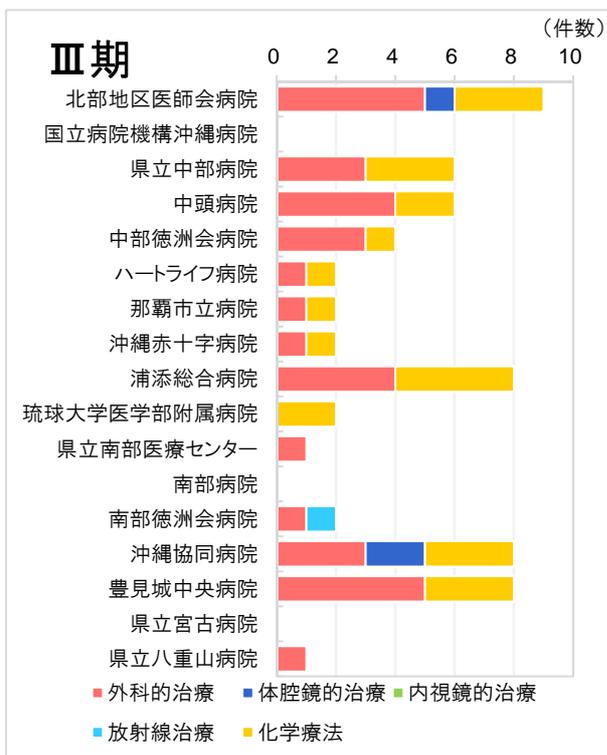
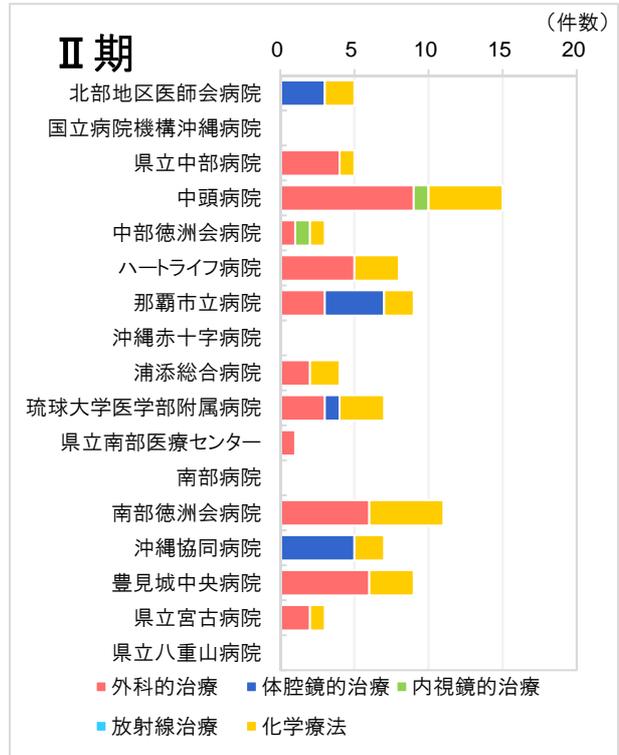
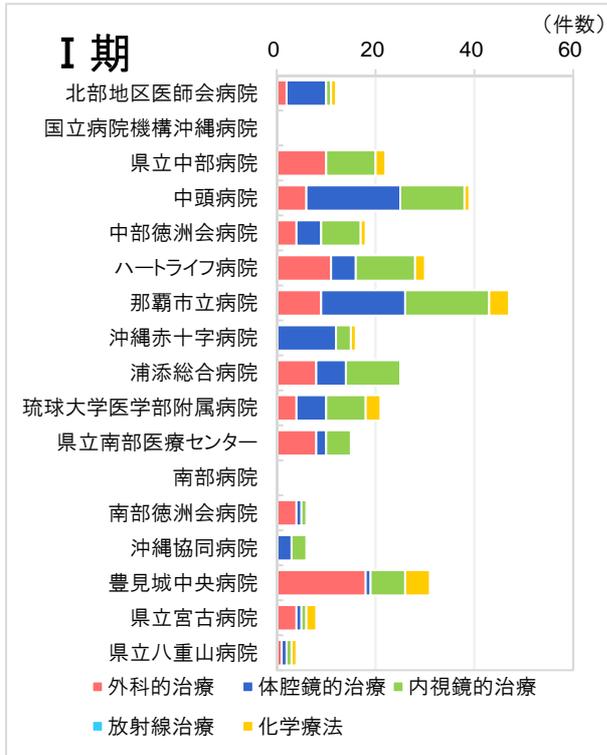


臨床医からのコメント

2015年における胃がんの登録数は634件であり、2014年の613件より微増であった。院内がん登録17施設での平均は37.3件、3施設（中頭病院、那覇市立病院、豊見城中央病院）で50件以上の登録があるが、他の施設でも大きな差のない登録件数が得られた。例年と比較し男女比は変化なく、ほとんどの施設にて年齢階級に差は認められなかった。

発見経緯は、なんらかの症状があり医療機関を受診した「その他・不明」が最も多く、「他疾患経過観察中」「健康診断・人間ドック」での発見が続いた。がん検診による発見は例年と同様6%台であるが、健康診断・人間ドックでの発見は昨年を4.5ポイントも上回っていた。国立がん研究センターの集計による沖縄県の胃がん検診受診率（40~69歳）は、これまで全国平均を下回っていたが徐々に増加し、2013年にはわずかではあるがそれを上回ったという経緯もあり、それらによる功績にとらえたい。（次のページにつづく→）

施設別 UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療の件数—0期～Ⅳ期



* 外科的治療・体腔鏡治療・内視鏡的治療は原発巣の切除、腫瘍の縮小目的の切除、転移巣の切除も含まれる
 * 件数は延べ件数（手術と化学療法を組み合わせを行った場合は、どちらの項目でもカウントされる）
 * 記載のない治療方法については巻末の集計表を参照
 * 県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記